

秘密顧問官 南 次郎

秘密院議長男爵鈴木貫太郎殿

昭和二十年二月 日立案

主筆 書記官

(高辻)

書記官長



書記官



海軍省官制中改正ノ件審査報告

(別紙ノ通り)

海軍省官制中改正ノ件審査報告

謹デ今回御諮詢ノ海軍省官制中改正ノ件ヲ審
 査スルニ曩ニ昭和十五年海軍省ニ於テハ海軍
 軍備ノ擴充ニ伴ヒ繁劇ヲ加ヘタル軍政事務ノ
 處理ニ支障ナカラシメシガ爲軍務局ノ所掌事
 務ノ一半ヲ割キテ兵備局ヲ新設シ爾來數年緊

迫^{時下}セル諸般ノ情勢ニ即應^ヒシ來リタルガ其ノ後
 事態ノ推移ト共ニ一般軍政事務ニ關シニ局併
 立スルノ不利亦漸ク顯レ關係事務ノ統制上遺
 憾ノ點ナシトセザルニ至レリ而シテ機構ヲ簡
 素強力ニシ事務ノ處理ヲ簡捷ナラシムルハ現
 下戰局ノ要請スル所ナルニ由リ軍務兵備兩局

ノ所掌事務ハ再ビ之ヲ合一シ一局長掌握ノ下
 ニ置キ且之ニ伴フ局長ノ職務遂行上ニ於ケル
 負擔過重ヲ緩和セシガ為新ニ之ガ輔佐機關ト
 シテ次長ノ制ヲ設ケントス即チ本案ハ以上ノ
 二點ヲ主眼トシ海軍省官制中ニ改正ヲ加ヘン
 トスルモノニシテ其ノ要旨ハ(一)兵備局ハ之ヲ

密院

廢止シ(第六條及舊第九條ノ七條)其ノ第四課ヲ移シ

テ人事局ノ第四課トスル外(第十條及第三條)兵備局

所掌事務ノ大半ハ軍務局ノ所掌トシ之ガ為軍

務局ニ於テハ從前ノ第三課ヲ第四課トシテ新

ニ第三課ヲ設ケ(第九條及兵備局第二課分掌事

務ノ全部及同局第三課分掌事務ノ一部ヲ掌ラ

シ(第九條)同課分掌事務ノ殘務及同局第一課

ノ分掌事務ハ概テ軍務局第一課掌所掌

(第八條)軍務局ニ新ニ次長ヲ置キ中少將ヲ以テ

之ニ充テ軍務局長ヲ輔佐セシムルコトトス(第九條)

十條及別表前記ノ改正ニ伴ヒ兵備局ノ局

長、課長及局員計二十三人ヲ減シ軍務局ノ次長、

區 密 院

課長及局員並ニ人事局ノ課長及局員計二十一
人ヲ増シ通計本省全職員ニ於テ二人ヲ減少シ
尚人事局第三課長ハ海軍艦政本部出仕ノ兼務
ナリシヲ改メテ専務トスル(表別)ニ在リ
按ズルニ本件ノ改正ハ海軍省ニ於テ現時ノ事
態ト實際ノ經驗トニ考ヘ其ノ所管事務ノ處理

ニ遺憾ナカラシメンガ爲部局ノ組織及所掌ニ
適當ノ變更ヲ加フルコトヲ主トシ之ニ伴ヒテ
職員ノ配置ニ若干ノ改正ヲ施サントスルモノ
ニシテ孰トモ別ニ支障ノ虞ヲ認メザルニ由リ
本件ハ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルゾシト思料
ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年二月十五日

書記官長

議長宛

衆議院議員ノ補闕選舉等ノ一時停止ニ關スル
法律案帝國議會へ提出ノ件審査報告

昭和二十年二月十六日

委員長 石井顧問官

委員 南(弘)顧問官

湖顧問官

野村顧問官

奈良顧問官

三土顧問官